

《中部》野菜の出荷がいよいよ本格化！
～令和8年産 JA いわて花巻野菜出荷式・野菜販売対策会議が
開催されました～

6月18日(木)、石鳥谷園芸センターで「JA いわて花巻野菜出荷式」及び「野菜販売対策会議」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの生産者や関係機関職員が参加しました。

出荷式では、JA いわて花巻より、管内でのアスパラガス、ピーマン及び大玉トマトの出荷状況や、ハウス導入・高温対策支援を継続する方針が示されました。市場からは、5月末の全農いわての出荷実績が前年対比で数量113%、単価105%と好調であることが説明され、市場流通の連携強化を図りたいとの挨拶がありました。式では、トラックへの野菜積み込み後、花巻農業高校による鹿踊の演舞及び生産者代表・関係者ら7名によるテープカットが行われ、野菜出荷の最盛期に向けて生産者の士気が高まりました。

出荷式後の野菜販売対策会議では、ナフサ供給不足による資材不足を背景に、出荷資材の供給不安定が販売に及ぼす影響について協議されました。対応策として、規格の簡素化や資材の見直しが挙げられましたが、バラ出荷では引き合いが弱くなるとの懸念も示されました。また、再生産が可能となる価格への転嫁には出荷体系の見直しが必要である一方、市場だけでの解決は難しく、消費者の理解促進が必要など活発な意見交換が行われました。

普及センターは今後も関係機関と連携し、安定した野菜生産・出荷を支援していきます。



野菜出荷式開会の様子



出荷式でのテープカット